



福祉施設 広報誌

木もれ陽

No.84

2022.春号



デイサービスのみなさんの作品

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である

岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべ寄り添う済生の心で
信頼される医療・保健・福祉のサービスにつとめます

岡山県済生会のビジョン

社会におけるポジション

1. あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

事業経営の将来像

2. 済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワークを構築します。

組織の人のあり方

3. 適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりがいを持てる組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目

次

- ライフケアセンター…………… p 2 ～ 9
- 憩いの丘…………… p10～11
- 備中荘…………… p12～13
- 宇垣荘…………… p14～15
- 玉松園…………… p16～17
- 和みの郷かなや…………… p18～19
- 新人紹介…………… p20～21
- トピックス…………… p22

秋篠宮皇嗣殿下ご臨席の下、 済生会110周年式典が開催されました



[記念式典]



[シンポジウム]

済生会は令和3年度、創立110周年を迎え、総裁・秋篠宮皇嗣殿下ご臨席の下、2月27日、東京都港区元赤坂の明治記念館で記念式典を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として出席者は本会役職員124人に絞り、全国の済生会施設にWebで配信しました。

国歌演奏に続き、炭谷茂理事長が「生活困窮者を取り巻く問題は複雑化し、さらに新型コロナのまん延で社会の分断が激しくなっている。済生会は誰一人取り残さない地域社会を実現するため、新たな事業の展開を視野に住民の健康

と暮らしをどこまでも守っていく」と式辞を述べました。松原了本部理事が済生会の10年間の活動をスライドにまとめて紹介。秋篠宮皇嗣殿下からは「110年の長きに亘り、「施薬救療」の創立の精神を引き継いで、医療と福祉の充実・発展のために多くの事業に取り組んでこられた先人、そして皆様方のたゆまぬ努力と英知に対し深く敬意を表します」とのお言葉を賜りました。

式典の後、第二部として「済生会の明日を語る」と題してシンポジウムが開かれ、当支部の岩本一壽前支部長らが、これからの時代に済生会の理念に基づいて支部・病院が向かうべき方向やソーシャルインクルージョンの理念に基づき誰一人取り残さない地域社会の実現に向けた方策について意見が交わされました。

(済生会本部ホームページから引用)



山本支部長

支部長の交代について

令和4年4月1日付で、長年にわたり支部長を務められました岩本支部長が退任され、山本理事(前岡山済生会総合病院院長)が支部長に就任されましたので、お知らせいたします。



やよいの里

軽費老人ホーム(混合型特定施設)

雑茶会



令和4年3月16日水曜日にケアハウスの雑茶会を開催しました。本来なら新年を迎えて1月には初釜を予定していましたが、長引くコロナの影響で中止となり今年初のお茶会です。手作りの梅の花とお雛様を飾り、前日に職員が抹茶をふるいにかけて丁寧に準備して当日を迎えました。コロナ禍で少なくなった行事、ささやかなものですが久しぶりということもあり、少しばかり期待に満ちた利用者様の視線を感じつつ開催。和菓子のお題は《引千切：ひちぎり》京都で桃の花の節句に食べられているお菓子です。お茶の合間に野上相談員が得意のダジャレを披露しながら連想ゲームを行いました。頭の体操です。



◎痒い時はこれ・・・ま●●て(孫の手) ◎岡山の昔話と言へば・・・も●た●う(桃太郎)というようになんと40題。すぐに答えられる人、会が終わっても席に着いたまま考えている人、それぞれ一様に楽しんでいただけたようです。

自然災害、パンデミック、戦争。私達には想像もつかなかったような出来事が起こっていますが、この今という大事な時間を笑って元気に過ごして行きましょう。
介護職員 熊代 薫

お団子会



令和4年4月26日火曜日にお団子会をおこないました。コロナの影響でお花見や遠足がなくなり少しでも



入居者様に喜んでもらいたいと思い計画をたてました。雰囲気を出すためにホワイトボードには職員手作りの桜を用意し、お団子は飲み込みの悪い方にも食べやすい豆腐団子を手作りしました。みたらし団子とよもぎの団子にはあんこをかけました。皆様「とても美味しい!!」や「よもぎの風味がして良かった」等とても喜んで下さいました。
介護職員 白坂 未来

ビデオ集団体操



ビデオ体操に参加される利用者様のまなざしはいつも意欲的です。体操は四肢運動のみでなく誤嚥性肺炎予防の嚥下体操にも力を入れています。今年度はヨガ体操も取り入れ美意識の高い女性たちにご好評いただいています。健康意識が高く利用者様をいつも尊敬しています。気温も高くなっており脱水予防に気をつけて運動しましょうね。これ



から健康寿命の延伸を目指して職員一同で出来ることを提供していきます。一緒に頑張りましょう。
看護職員 大倉 圭子

なごみ苑

有料老人ホーム(混合型特定施設)

2月《豆まき》

2月3日、今年は豆まきが復活。なごみ苑に赤鬼、青鬼がやってきました。彼女たちは踊りがとても得意で、テーマ曲「鬼のパンツ」のリズムにのって登場。私たちに、強さと可愛らしさをアピールしたダンスを披露しました。皆さんとても喜んでくださって、豆まきも楽しかったです。



今年の年男の方と



3月《雛祭り》



3月3日 雛祭り 今回はまん延防止等重点措置のため食堂でのお茶会が中止となり、初めての試みで各居室に甘酒をお配りすることになりました。甘酒は手作りで温かくして飲んでいただきました。「めったに飲むことがなかったのでおいしかった。」と多くの声を頂き、行事にいつも参加されない方にもお配りできたので大変喜ばれました。

4月《散歩》



温かくなり過ごしやすい季節になりましたが、まだまだ一日の寒暖差が大きいですね。これから徐々に良い気候となり行楽日和が増えると嬉しいです。さて、春の外出は今回も見送りとなりました。なごみ苑では敷地内の遊歩道散歩を計画し、1回目は13名、2回目は8名の方が参加されました。おしゃべりをしながら時には立ち止まり、ゆっくりゆっくりと歩いてライフケアセンターの春を感じました。



習字風景



クラブ活動

手芸工作に参加された方と折り紙で「かぶと」を作りました。かぶとの角は少し難しいので職員と一緒に取り付けました。これからは同時進行で鯉のぼりも作っていきます。うろこをちぎったり魚の形に切ったりと下ごしらえをしました。出来上がりが楽しみです。

介護職員 田渕 美也子・新田 祐子

コロナ禍の中、桜が満開の季節となりました。

みなみがた荘では栄養士の職員から声があがり、室内でのお花見会を計画することになりました。残念ながら戸外に行くことはできませんが、職員が実家の山の桜を切って持参し、談話室全体に紅白の垂れ幕を用意しました。

もちろん感染防止対策で机の配置等にも気を配りました。

当日は、丁度満開になった桜の花を中心に、春の代表的なチューリップ、菜の花を周りに飾り、予想以上に華やかな雰囲気になりました。

この様子を見た利用者様は、これから何が始まるのか、とてもワクワクした表情をされながら辺りを見回したり、お花に顔を近づけたりされて

「わぁ～綺麗な花だね!!桜が満開で素敵」、「お花の良い香り～」

など口々に話され、楽しまれていました。中には、

「写真を撮って、撮って」

と興奮される方もおられ、一時は撮影会となり職員も幸せな気分になりました。

いざ、花見会が始まると

「こんな事してくれるとは思わなかった!」、「とても、嬉しい」

と喜びの声があがりました。昼食は、重箱に入った松花弁当です。利用者様は、開けた途端

「わぁ～もの凄いご馳走だなぁ～」



と、いつもより箸がすすんでおられました。また、おやつは職員が手作りした桜餡の入ったミニどら焼きを召し上がって頂きました。日頃、言わない利用者様から「おかわり」の希望もあり盛り上がりました。楽しい時間はあっという間に終わり、閉会すると寂しそうな表情される方もいました。

その日の夜、利用者様の会話は花見会の事でもちきりで「またして欲しい」と嬉しそうに言われており、花見会を開催できて本当に良かったと強く感じました。

まだまだコロナも終息していない中ですが、常に感染防止対策を徹底し、これからも利用者様の為に活気のある活動を職員一丸となり支援していきたいと思います。



介護職員 難波 希



節分：豆まき



なでしこ苑では、2月3日（木）に毎年恒例の節分の豆まきを行いました。

お昼ご飯を終え、みんなで楽しくお話をしている中、どこからともなく太鼓の音が聞こえて来て、3匹の鬼が現れました！3匹の鬼は手に持った棍棒を掲げながら利用者の方を脅かします！そこで、利用者の方が一斉に鬼に向かって勢いよく豆を投げつけます！「鬼は～外」「福は～内」と大きな声を出しながら鬼にむかってどんどん豆を投げつけていきます！

3匹の鬼も一斉に豆を投げられてはひとたまりもありません。なすすべもなく逃げていきました。今回の豆まきで初めて鬼の役を演じてみて、初めはうまくできるかとても不安でしたがいざやってみればその場の愉快的な雰囲気の影響もあり、楽しく演じることが出来ました。一緒に演じてくれた2人の職員の方も迫真の演技でした！利用者の方も一生懸命参加して下さり、笑顔の方も大勢いました。今年も元気で健やかな1年間をすごせますようにとの願いを込めて行った豆まきは職員、利用者の方にとって、とても楽しく有意義な時間にする事ができたと思います。

介護職員 森永 虎汰郎



〈2F〉《お楽しみ会》

ついこの間まで寒い寒いと言って厚着をしていたのに、4月も中旬になると暖かくなりましたね。

2階では4月8日にお楽しみ会を催しました。写真に写る皆さんが何を真剣に見ているかわかるでしょうか？手にした紙には数字がいくつも書かれています。読み上げられた数字があればそれを折り込んで縦横斜めどれか1本数字が全て折り込めればクリアです。

そう！ビンゴゲームです！隣同士の利用者様で教え合い、職員が読み上げた数字を折り込んでいきます。「リーチ！」「これはどうなん？あと1つ折らないとだめ？」等と真剣に、かつ楽しく取り組んで下さいました。ゲームの終わりには職員が手作りする巾着袋やキーホルダーを1人1人選んでいただき、拍手でお楽しみ会は終了しました。

なかなか外に出られず刺激が少ない日々が続いています。小さな催し物ですが、少しでも気分転換になり皆様の笑顔が見られるよう今後も取り組みたいと思います。



介護職員 明井 彩也香

〈3F〉《お誕生日会》

4月に入り、急に暖かくというより暑くなってきた午後、お誕生日会を開催しました。

お誕生日者がおひとり、その他の利用者の方々が祝いし、その後は職員と一緒に輪投げゲームを行いました。輪の束を手に、皆様方一生懸命に参加され、楽しい時間を過ごしました。まだまだコロナの終息にはほど遠い日々ですが、少しでも利用者の方の笑顔絶やさないう、職員一丸となって援助していきたいと思ひます。

介護職員 小丸 恭子



〈4F〉《春うらら》

街中の桜も満開になった4月初旬。たちばな苑4階にも桜が咲きました。

コロナ渦の今、外の桜を見に行くことも難しい利用者様の為に、職員と一緒にひとつひとつ桜を咲かせていきました。

たちばな苑の東側に咲く桜を、利用者様と上から覗き見ながら、つかの間のお花見も楽しみました。



「桜はやっぱりきれいだわ。でも上から見るより、やっぱり桜は下から見たいわね」

と、利用者様の少し切ない心の声も聞こえてきました。

そんな日が一日でも早く訪れる日を心待ちにしながら、利用者様と共に新しい一年のスタートを切りました。

看護職員 長岡 愛来



デイケアセンター

通所リハビリ

・節分



コロナ渦の為、ソーシャルディスタンスをとりながらではありますが、青鬼、赤鬼にめがけて疫病退散!!!鬼は外!!!福は内!!!と豆まきを行いました。動き回る鬼を的にして、野球のボールを投げるように上手に何球も投げられた方や優しく投げられる方がおられました。赤鬼、青鬼は“参りました”とひっくり返り、鬼退治を楽しめました。

鬼は外!!
福は内!!



参りました



・2022年2月22日

世間では2（フー）2（フー）2（フー）とおでんの日だったり、2（にゃん）2（にゃん）2（にゃん）と猫の日だったりしました。デイケアでは“2”の並んだ日をご利用された皆様と記念撮影しました。



2?2?2?



・春祭り



デイケアではお馴染みのクラリネットの二重奏「涙そうそう」「早春賦」「エーデルワイス」「見上げてごらん夜の星を」「さとうきび畑」迫力のある生演奏に聞き入っておられました。

ピアノとの合奏では「川の流れのように」「時の流れに身をまかせ」「糸」を一緒に口ずさみながら聞かれました。「良かった!!」と拍手喝采。アンコールもあり、とても喜ばれ、楽しいひと時になりました。



演奏会の後はご利用者様にも抹茶を立てて頂き、陶器の器でおもてなし。「美味しいわ」とおやつと一緒に召し上がられ、皆様、笑顔で過ごされました。



介護職員 磯田千賀子

あっと驚くチューリップ

11月にY様と植えた2つのチューリップ、無事に4月に咲きました。

先に咲いたのは、紫と白の綺麗なミックスでした。が、なんと次に咲いたチューリップは、私の想像をはるかに超えるチューリップでした。

黄色ではあるのですが、八重咲の真ん中に黒いポチとした物がのぞいており、何も知らずに見たらきっとチューリップとは気が付かないと思います。

突然変異か元々なのかは、今となっては分からないのですが、長い期間デイサービスの利用者様を楽しませてくれました。

今回残念ながら黄色のチューリップの写真のシャッターチャンスを逃してしまい、皆様に見て頂く事ができなかったのですが(と)散る前は、花びらが「私を見て!!」と言わんばかり花開き、改めて黄色のチューリップの生命力の凄さを感じる事の出来た春のひと時でした。



魚釣りゲーム



釣りと言えば海、海と言えば、永遠の若大将、若大将と言えば 加山雄三さんの『月 海よ』をバックミュージックに、デイサービスで今流行りの魚釣りゲームをしました。

職員手作りの、とってもリアルなお魚を、デイサービスの海原に放流し、釣りが開始!!

皆さんとっても真剣な眼差しで、声をかける事さえ躊躇する位の、熱い闘争心を肌で感じる事が出来ました。

「今晚のおかずは、刺身にする?それとも、煮魚や、塩焼きにしようか?ご馳走じゃな〜」と皆

様とお話ししながら、目の前でどんどん釣りあがる魚を見たり、利用者様と一緒に時間を過ごさせて頂き、改めて趣味の無い私は、釣りを趣味にしてみても良いのではないかと心の中で『海よ』を聴きながら思いをはせたりしていました。

ゲーム終了後、魚の裏には値段が書いてあり、釣った魚の金額で順位を決めていきました。

1位の方の最高金額はなんと5億円!!

「イエーイ!!」という皆さんの掛け声とともに、そろそろお腹が空いたところで魚釣りゲーム終了しおやつとなりました。



デイサービスにも春が来た



春と言えば桜ですが、コロナ禍の近年、以前のように気軽に花見に行く事が難しい状況の為少しでもお花見気分を味わって楽しんで頂きたいと、利用者様と一緒に桜の花の作品作りをしました、当初は桜の花びらのみでしたが、利用者のW様に「桜の花を全体に広げて覆うようにしたら良いんじゃない、木も作ってみては」と助言頂き、皆様と協力して、可愛らしい、桜の木と、かさ地蔵の貼り絵作品が仕上がりました。W様は若い頃、現場監督をされていたので、テキパキと事が進みました。

介護職員 宮田 信子



特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム 憩いの丘

令和4年
4/
6水

お花見



春爛漫!

♪み～んな出て

『コイコイコイ♪』

花が咲き競う美しい季節を迎え、晴天に恵まれ一年ぶりに屋外で彩り豊かなお弁当をお昼ご飯にいただきました。

玄関に出ると…

うわ～っ！外は眩しいなあ～！
桜の花が満開じゃ～！
きれえじゃな～！



次々と歓喜の声が聞こえてきます。

花吹雪が舞う今日このごろ・・・『コロナよ！早く落ち着いておくれ！』と願いをこめます。



介護副主任 倉野 則子

憩いの丘 デイサービスセンター

理学療法士考案テーブルカーリングにチャレンジ!!

令和4年

3月

大盛り上がり!! テーブルカーリング!!

北京オリンピックですっかり大人気のカーリングは、ルールは分からなくても高齢者の方もご存知です。2月には床でボールを使ったカーリングをしましたが、今回はテーブルでゴルフボールと紙コップで実施しました。赤と青、ハウスに近いのはどちらか? どちらに何点入るか理学療法士が説明しています。身を乗り出して上から見て「ああ。本当じゃ。赤のほうが真ん中に近いわー。」等と盛り上がっています。少し練習すると直ぐに上手く紙コップ

をスライドさせることが出来ました。総当たり戦で、一生懸命の表情やら、何とも言えない楽しそうな笑顔や声援で金・銀・銅メダルが決まり、楽しいレクリエーションでした。



憩いの丘デイサービスセンター 副主任 矢尾 みずほ

令和4年

3/4金

認知症介護実践研修(実践リーダー研修)へ参加して



リーダー研修は初めてで、最初はなかなか自信が持てず、自分には向いていないと思う事もありました。しかし、リーダーのタイプには色々あって、先導する人、陰で支える人様々で、自分らしい長所を活かしたタイプのリーダーもいて良いと前向きになれました。

OJT(職場内教育)計画を立案、実行し、指導方法の課題やあり方について学びました。パワーポイントを作成するのが難しかったですが、自分自身のケアを見つめ直す事も出来、充実した研修になりました。また他者の発表を聞くことで、違った視点での見方や工夫を学ぶ機会になり視野がまたひとつ広がりました。

今後は研修で得た事を活かし職場内のケアに役立てて行きたいと思えます。

ご協力をいただいた他部署、他職種の皆様今後ともよろしくお願いいたします。



憩いの丘デイサービスセンター 片岡 なおみ



介護老人保健施設

備中荘開設10周年を迎えて



介護老人保健施設「備中荘」は平成24年（2012）2月にユニット型介護老人保健施設として開設され今年でちょうど10周年を迎えました。この間、超高齢化と介護保険システムの変化の波の中で、利用者の方々の安心安全を担保しつつ健全な施設運営を行うことに努力してきました。

昨年度より機能回復部門（理学療法士、作業療法士）に言語聴覚士が加わり、「安全に口から食べられる」を目標に文字通り三位一体のリハビリで利用者の方々のお役に立てられるように体制を整備しました。また隣接する済生会吉備病院とは連携をさらに密にし、緊急時対応はもちろんのこと、最近のコロナ感染対策についても迅速な対応が可能となりました。今後も備中荘の理念である「在宅復帰」「生活リハビリ」「地域貢献」をさらに充実させるべく取り組んでいきます。

私事ではありますが、私自身は令和2年（2020）10月から管理者をさせていただいています。それまで病院勤務しか経験のない私にとって初めて備中荘を訪れた時のことはよく覚えています。明るく広いダイニングルームで、

入所者の方々がテレビを見たりおしゃべりをしたり思い思いに過ごされており、病院とは違って仄々とした雰囲気満ちている、というのが第一印象でした。さらに簡単な調理ができるオープンキッチンまであり、スタッフはまるで皆家族のように接していました。この温かさと優しさをこれからもずっと持ち続けたいと思っています。

創立10周年を迎えた現在、折しも新型コロナ禍により医療・介護施設は大きな試練にさらされています。利用者の方々はもちろんスタッフの健康を確保しながら本来の職務を継続していかなければなりません。加えてLIFE導入に伴う科学的介護推進等の介護保険システムの変革や80-50問題等の社会情勢の変化への対応が必要です。私達を取り巻く環境は決して安楽なものではありませんが、常に「利用者さんのためになっているか」という自問を忘れずに、しかしあくまでも明るく楽しく業務に励んでいきたいと思ひます。

皆様の変わらぬ温かいご支援よろしくお願ひいたします。

管理者 難波 洋一郎



節分のお楽しみメニュー



令和4年2月3日（木）節分の日、昼食：巻き寿司、15時おやつ：鬼ちゃんスイートポテトをご提供いたしました。巻き寿司の海苔はスリット（切れ目）が入って噛み切りやすいものを使用し、具も噛み切りやすいように柔らかく炊いてくれています（ちなみに中身は、厚焼き玉子、人参、穴子、ほうれん草です）。スリットの入った海苔は、包丁で切るときも破れやすく扱いにくいので、巻き寿司の形が少しいびつになってしまいますが、手作り感満載のご愛敬と申ひいただければ幸いです。



節分のおやつは豆まきの“豆”が定番ですが、鬼の顔をモチーフにしたスイートポテトとしました。また、ゼリー・ムース形態のおやつを召し上がっておられる方には、同じく“鬼ちゃん”デコレーションのイチゴプリンにしました。一つ一つ顔が違っているのは、厨房スタッフが楽しんで作ったからです。説明させていただかないと“鬼”だとなかなか気づいていただけませんでした。作り手の気持ちは皆様に十分に伝わっているようでした。

節分のおやつは豆まきの“豆”が定番ですが、鬼の顔をモチーフにしたスイートポテトとしました。また、ゼリー・ムース形態のおやつを召し上がっておられる方には、同じく“鬼ちゃん”デコレーションのイチゴプリンにしました。一つ一つ顔が違っているのは、厨房スタッフが楽しんで作ったからです。説明させていただかないと“鬼”だとなかなか気づいていただけませんでした。作り手の気持ちは皆様に十分に伝わっているようでした。

管理栄養士 谷口 直美

介護老人保健施設

お花見🌸備中荘の桜が満開！



令和4年4月3日(日)に、とても天気良かったので
玄関横の桜を見に行きました。

入居者様からは、「今年も見に行けるん？嬉しい！！」と笑顔。

桜を見ると「わあ。満開！5本も桜の木が植わってってきれいじゃなー」と大
喜びされました。

コロナ禍で行事等行えない事が多い中で、些細な事ではありますが良い気分転
換が出来たのではないかと考えています。今後も皆さんの笑顔が見られるよう行
事等計画をしていきたいと思ひます。

介護職員 中嶋 美由紀



備中荘リハビリテーションセンターのご紹介

令和3年10月に岡山済生会福祉グループで初となる常勤の言語聴覚士として備中荘に配属されました。言語
聴覚士とは「話す・聞く・食べる」ことの専門職で、平成9年に国家資格となり全国の有資格者は昨年で3万
6千人となっています。



当施設では運動機能と生活動作の維持向上に加
えて、摂食嚥下機能とより専門性の高い認知機能
のリハビリテーションを提供できるように取り組ん
でいます。今後も理学療法士・作業療法士・言語
聴覚士の3職種のリハビリテーションをチーム一丸
となって利用者の皆様に提供できるよう努めていき
たいと思ひます。

言語聴覚士 田山 久志

春の町内事前溝掃除

令和4年4月16日(土)に、町内の溝掃除に先だっ
て、地域貢献の一環として備中荘周辺の溝掃除と施
設内の環境整備を行いました。快晴の中、日頃の感謝
の気持ちを込めて、全員が協力して掃除をしました。

備中荘周辺の環境が綺麗になり、清々しい気持ち
になりました。これからも地域の皆様や利用者の皆
様との結びつきを大切にしていけるよう、取り組ん
で行きたいと思ひます。



事務職員 市川 浩司

備中荘・済生会吉備病院合同消火訓練に参加

令和4年4月27日(水)に、備中荘と済生会吉備
病院合同の消火訓練に参加しました。

練習用の消火器や散水栓を使用し、コーンを火元
に見立て、火災発生時の対応方法や消火方法を学び
ました。防災盤の操作説明も受け、警報時の対応方
法等も学びました。消火器の使用方法等、学ぶ機会
がなかったのもとても勉強になり貴重な経験がで
きました。



理学療法士 木村 早希

春

令和4年3月末日宇垣荘の桜もほぼ満開となりました。皆様の気分転換にとお一人ずつ桜の木の下まで散策に行きました。「さくらを見に行きましょう」と声を掛けると「そりゃあええなあ」と軽快な返事が返ってきました。実際に行くと満面の笑みでいつもより自然と会話も多くなっていました。「はいっチーズ」一人ずつ記念写真を撮りました。一人一人の表情を見ていると一日でも早く状況がよくなり皆様と一緒に楽しい時間が過ごせる日が来る事をただただ願うばかりです。心地よい春の日ちょっとした思い出を作る事が出来ました。

また宇垣荘特養では毎月クラブ活動を行っています。書道・喫茶・音楽・貼り絵と4つのクラブを各ユニットがそれぞれ受け持ち、毎月2つのクラブを交互に担当のユニットに集まって行っています。残念ながらこのコロナ禍で、クラブ活動も一時中止となっていましたが、今年の4月から感染防止対策を取りながら再開となりました。なかなか一つの場所に大勢が集まるといのは難しいですが、久しぶりに行った貼り絵クラブは皆さん一生懸命作品を作り、傍で付き添う職員にここは何色がええじゃろ？ここはピンク色じゃろ…等と会話をしながらも久しぶりのクラブ活動を集中して取り組まれていました。一日も早く通常のクラブ活動ができるようになればと願っています。



介護職員 藤本 利恵子

ひなまつり



♪あかりをつけましょぼんぼりに～ 笑っ

女性も男性も参加のひなまつり。顔出しパネルを手作りして一人ずつ写真を撮りました。パネルから顔を出すと、みなさんよくお似合いのイケメンと美人で「ぴったりじゃがーん」「似合ってるー」と、大はしゃぎ。「じゃ、私もー」と職員の私が顔を出すと「あんたそりゃ…」と大笑いされ、なぜ??と思っていると「似合いすぎー」と涙がでるほど大笑いしてくれました。ん?私の写真??気になりますか。「笑いは百薬の長」ぜひ宇垣荘デイサービスに来てください。一緒に大笑いしましょう～♪



と、大はしゃぎ。「じゃ、私もー」と職員の私が顔を出すと「あんたそりゃ…」と大笑いされ、なぜ??と思っていると「似合いすぎー」と涙がでるほど大笑いしてくれました。ん?私の写真??気になりますか。「笑いは百薬の長」ぜひ宇垣荘デイサービスに来てください。一緒に大笑いしましょう～♪



看護職員 江田 知里

春が来た

宇垣荘の向かいの山から、うぐいすが鳴き、心地良い風が流れ、春がやって来ました。

リビングの大きな窓からは、桜、ツツジ、山に咲く藤の花が見られます。

「もう満開じゃな」「あの紫色が好きなんよ」と自然と会話が始まります。

中庭に散歩へ行くと、ハナミズキ、八重桜、色とりどりのチューリップが皆様を迎えます。「風が気持ちええな」「これから、花や野菜がどんどん出来るよ」「この花には違う色もあるんよ」と散歩の楽しみが増えます。

満開の桜が咲き、会話にも花が咲き、満開の笑顔がたくさん咲くようにこれからも季節を感じて過ごして頂きたいです。



介護職員 中原 朋之

お誕生日会メニュー



2月10日（木）の昼食は、リクエストの多かったお刺身を中心に入所者様がお好きなものをお誕生日会メニューとしてご用意しました。メインとなるお刺身はサワラとマグロの2種類を魚屋さんにお願ひしました。普段あまり箸が進まない方にも召し上がっていただけました。「うれしー。豪華。おいしかった。よかった。」と喜んでいただけてよかったです。今回は、おかゆの方へお赤飯の代わりに小豆粥をお出ししました。こちらも好評で今後も引き続き小豆粥を提供することになりました。



お花見弁当

4月1日（金）の昼食は、桜の咲く時期に合わせてお花見弁当をご用意しました。稲荷寿司、魚の木の芽焼き、天ぷら、たけのこの煮物を松花堂弁当に詰め、さくらゼリーとお吸物は直前に盛り付けて提供しました。入所者様から「稲荷おいしかったよ。お腹いっぱい。たけのこが春らしくていいわあ。お昼よかった」など空になったお弁当箱と一緒に声をかけていただきました。

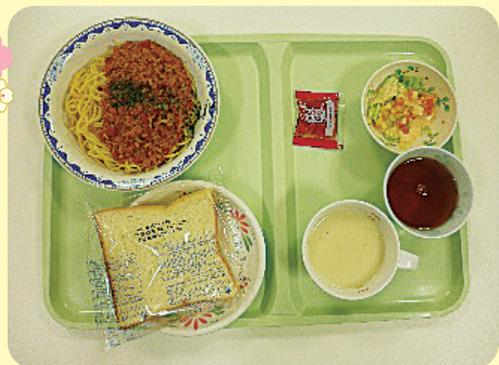
松花堂弁当



雑炊



パン



アンケート調査を行い様々なご意見を頂戴する中、可能な範囲で給食に反映しております。朝食時の雑炊や、昼食時のパンをお出しする回数などが以前より増えてきております。より一層お食事に関心を持っていただけるようにしていきたいです。

管理栄養士 友次 朋恵

外出支援 ドライブ 花見



4月6日（水）春の到来を楽しんで頂こうとお花見を計画しました。ドライブのみのお花見ですがコロナ禍にて外出を控えているご利用者様には嬉しい報告だったようです。



玉松園を出発し赤磐市方面に車を走らせ、河川敷沿いの満開の桜を楽しみました。山沿いには他にも菜の花や、桃の花も満開で桜以外のお花も楽しめたと大変喜ばれました。

「桜の下でお弁当抜げて食べたいね。」という声もありました。

新型コロナの影響はまだまだ私たちの生活を自由にしてくれそうにはありませんが、来年こそは車から降りてお花見が出来る事を願うばかりです。

介護職員 平田 敬子



ラジオ体操



玉松園では、以前は、午前中の集団体操として、2階の集会室に利用者様全員に集まって頂き、40分間かけて全身の体操を行っていました。

コロナ禍となり、皆さんで集まることができなくなりました。

そこで、1階と2階に分けて、短時間ではありますが、ラジオ体操を行っています。

ラジオ体操の良い所は、手の運動、足の運動、腰の運動と全身をくまなく使った運動が出来ます。もう一つ音楽に合わせて体を動かすということが認知症予防に効果が高いと言われています。

利用者様も、それぞれの体力に応じて、一生懸命体を動かされています。

認知症を予防したい人、健康寿命を延ばしたい方にはお勧めの体操です。

看護職員 片山 和美

コンプライアンス研修

4月19日（火）職員によるコンプライアンス研修を実施しました。

今回は『済生会におけるコンプライアンス』～人権問題を中心に～をテーマにした済生会本部炭谷理事長によるビデオ研修をしました。

実際にコンプライアンス違反に対し厚生労働省から厳しい指導があったにも関わらず、その後も済生会のコンプライアンス違反が発生していること、済生会は極めて高い社会地位にあってそれだけに高い社会的責任を問われる立場にあり、より高度なコンプライアンスの徹底が『済生会ブランド』の形成には必須要件とされていることなどを学びました。

またコンプライアンス研修などを通して正しい知識を身に着けながら、個人や他人の『当たり前』の違いを理解しすり合わせる姿勢を一人一人が持つことが必要ではないかと思いました。

事務所 吉澤 和幸





和みの郷かなや



養護老人ホーム(一般型特定施設)

『鬼退治!!』

2月3日：瀬戸内の鬼ヶ島から赤鬼がやってきた!! 「鬼は外!」「コロナ外!!」のかけ声が普段になく活気にあふれ、杖や歩行器もどこへやら!豆に見立てた大きな新聞紙の玉で赤鬼達に立ち向かっていました。節分行事に初めて参加された方は「子供に戻ったようで楽しかったあ」と涙を流して喜ばれていました。『新型コロナの収束』と、『一年間健康で過ごせるように』と願いつつ、楽しい時間を過ごしました。



介護職員 東 真由美

『災害食づくり・避難訓練』

3月2日：消防避難訓練を行いました。
まず、防災訓練として非常食の作り方の実践です。
非常食のアルファ米が出来上がる時間(30分)逆算して消火避難訓練開始前に栄養士が調理手順を説明し、
訓練終了後に参加職員で試食会を行い味のチェック。
訓練を通じて、備蓄食品の保存場所、提供方法の確認等、非常時にも誰もが慌てず実践できるように継続して防災に係わる訓練を行いたいと思います。



栄養士 金藤 海幸

お雛さま🌸御内裏さま🌸逢えたね～

3月3日：今年のひな祭りは、事務長と職員扮する『お内裏さま』・『お雛さま』が“雛ぼうろ”を配りにぎやかに始まりました。陽気な二人が、“てんとう虫のサンバ”を歌うなか、赤・青・黄色の衣装～🎵に着飾ったバックダンサー



が登場すると、利用者の皆さんの手拍子で大いに盛り上がり、和やかな雰囲気の中、「嬉しいひなまつり」を歌い利用者の皆さんと楽しいひと時を過ごすことができました。

介護職員 藤原 英美子



『お花見🌸』

4月4日：寒かった新見にも春が訪れ、施設の周りでも桜の花🌸が見ごろを迎えています。青空の元、綺麗に咲いた桜を散策に出かけました。「とっても気持ちがいいわぁ」と喜ばれ、久しぶりの散歩に気分をリフレッシュすることができました。



計画作成担当
古屋 純子

スナック 純子 閉店のお知らせ



コロナ禍でボランティアの方々の来所の叶わぬなか、楽しみが一つでも増えればと思い、オープンした「場末のスナック・純子」。曲に合わせた仮装姿のママ（職員）と、ママ目当ての常連客（施設長）とのコンビでカラオケデュオをさせていただいておりましたが、「やめないで～」との声を聞くこともないまま、残念ながらしばらくの間、休業の運びとなりました。短い間でしたが有り難うございました。

🎵 そばに私が付いてなければ～何もできない
この人やから・・・ と思っていたのに！
転勤でどこかに行ってしまいました 🌸

計画作成担当 古屋 純子

〈利用料・医療費の支払いにお困りの方へ〉

利用料の減免制度について ～介護老人保健施設～

お知らせ
1

Q. 減免制度って何？

A. 社会福祉法人が社会福祉事業として運営している介護老人保健施設において利用できる制度です。社会福祉法という法律の中に規定があります。

Q. どんな事情で制度が利用できるの？

- A. 例えば
- ・利用者本人や、その世帯が住民税非課税（住民税を払っていない）となっていて、利用料の支払いが困難な方
 - ・長期入所となってしまう利用料の支払いが困難な方
 - ・家庭の経済的事情で利用料の支払いが困難な方
 - ・各施設の管理者が特に認めた方 …などです。

Q. どのくらいの額が免除されるの？

A. 利用される方の1ヶ月にかかった基本料金（介護保険給付・施設サービス費）、食費、居住費（特別な居室を含む）、日用品費、教養娯楽費等を足した額の約10%の金額を、1ヶ月の請求額から差し引きます。

Q. 手続きを行うには？

A. 「利用料減免申請書」と減免申請者（入所者本人）の前年度分の住民税を証明する書類（介護保険負担限度額認定証）等の提出が必要となります。

Q. ご注意ください

A. この制度の利用期間は恒久的なものではありません。

☎ 減免制度でご不明な点やご相談がありましたら、介護老人保健施設の支援相談員までお尋ねください。



無料低額診療事業について ～国体町診療所～

Q. 無料低額診療ってどんな制度ですか？

A. 病気やけがにより生計困難をきたす恐れのある方や経済的理由により適切な医療を受けることができない方に対して、医療費の負担を無料、または低額にすることで安心して医療を受けていただくための事業です。

Q. どんな人が対象ですか？

- A. ・低所得者世帯で経済的な理由により診療費の支払いが困難な方
・事情により医療費の支払いが困難と認められる方

Q. 対象になる「医療費」の減額の範囲は？

A. ・当診療所の医療費の10%以上。

Q. 利用の方法は？

- A. ・受付にてご相談ください。
・必要なもの：申請者および世帯全体の収入がわかるもの。印鑑。

Q. 利用できる期間は？

A. 適用期間は最長6ヶ月として、引き続き利用を希望する場合は、更新の手続きが必要です。



コロナウイルスは季節に関係なく我々を苦しめています。日本の四季は春・夏・秋・冬と規則正しく訪れ、今は美しいピンクの花びらをつけた“桜”の季節となりました。花を愛でる心は人類共通の感性だと思います。世界中の不毛な争いとコロナウイルス感染がいち早く終結し、世の中に“笑顔の花”が咲き乱れることを待ち焦がれています。

やよいの里 服部 豊

ライフケア：岡山市北区国体町3番12号 TEL086-252-2222 宇垣 荘：岡山市北区御津宇垣2069-10 TEL086-724-0707

憩いの丘：岡山市北区日近1807 TEL086-295-1155 玉松 園：岡山市北区御津金川123番地 TEL086-724-0058

備中 荘：岡山市北区高松原古才600-5 TEL086-287-3332 和みの郷かなや：新見市金谷641番地 TEL0867-72-1244

福祉施設合同HP <http://www.okasaisei-life.jp/>